

2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月5日  
東

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所  
 コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 西郷 泰広 (TEL) 019-621-5027  
 定時株主総会開催予定日 2022年5月27日 配当支払開始予定日 2022年5月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の連結業績(2021年3月1日~2022年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	120,310	8.8	4,043	△18.8	4,394	△17.2	2,964	△9.9
2021年2月期	110,535	8.3	4,976	27.1	5,306	23.5	3,290	5.4
(注) 包括利益	2022年2月期		2,963百万円(△9.9%)		2021年2月期		3,290百万円(5.4%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率			
	円 銭	円 銭	%	%	%			
2022年2月期	150.16	—	11.3	7.1	3.4			
2021年2月期	166.69	—	13.9	9.6	4.5			
(参考) 持分法投資損益	2022年2月期		-100万円		2021年2月期		-100万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産				
	百万円	百万円	%	円 銭				
2022年2月期	62,297	27,534	44.2	1,394.87				
2021年2月期	60,637	25,025	41.3	1,267.73				
(参考) 自己資本	2022年2月期		27,534百万円		2021年2月期		25,025百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	3,690	△6,625	△1,946	4,255
2021年2月期	5,210	△4,981	6,949	9,137

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	0.00	—	23.00	23.00	454	13.8	1.9
2022年2月期	—	0.00	—	24.00	24.00	473	16.0	1.8
2023年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		16.0	

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,004	—	2,378	—	2,540	—	1,779	—	90.17
通期	125,700	—	4,095	—	4,426	—	3,080	—	156.03

(注) 2023年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた予想となっております。このため、当該基準適用前の実績値に対する増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	19,740,219株	2021年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2022年2月期	23株	2021年2月期	ー株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	19,740,218株	2021年2月期	19,740,219株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

当社は、2022年4月18日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明会資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
4. その他 .....	12
(1) 仕入及び販売の状況 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルスの一日当たり新規感染者数が過去最大を記録したことに加え、まん延防止等重点措置の影響等で経済活動が再び抑制されるなど、先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、前年の反動でマスクや消毒液等の感染対策商品、医薬品が苦戦したほか、化粧品関連の戻りも鈍いなど、経営環境としては厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県8店舗、青森県5店舗、秋田県9店舗、宮城県3店舗、山形県6店舗、福島県8店舗の合計39店舗を新規出店いたしました。また、岩手県1店舗、山形県1店舗を退店し、当連結会計年度末の店舗数は358店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局2店舗）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は1,203億1千万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は40億4千3百万円（前年同期比18.8%減）、経常利益は43億9千4百万円（前年同期比17.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は29億6千4百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

#### ① ヘルス

医薬品は健康食品等が伸張し、衛生用品ではマスク、生理用品、介護用紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同期比4.7%増加し、241億8千4百万円となりました。

#### ② ビューティ

化粧品は基礎化粧品、ポイントメイク等が伸張し、トイレタリーではヘアケア、オーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比4.7%増加し、174億7千万円となりました。

#### ③ ホーム

日用品は洗剤や家庭紙、ゴミ袋等が伸張し、衣料品では履物等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比9.3%増加し、254億1千5百万円となりました。

#### ④ フード

食品は冷凍食品、日配品、生鮮食品等が伸張し、酒類ではビール類、酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比12.2%増加し、530億2千8百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、622億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億5千9百万円の増加となりました。

流動資産は266億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億9千3百万円減少しました。主な減少要因は、現金及び預金が48億8千1百万円減少したことがあげられます。

固定資産は356億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ46億5千3百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が42億6千8百万円あったことがあげられます。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債合計は、347億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5千万円の減少となりました。

流動負債は204億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千5百万円減少しました。主な減少要因は、未払法人税等の減少が5億2千4百万円あったことがあげられます。

固定負債は142億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千4百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金が12億6千7百万円減少したことがあげられます。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、275億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億9百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加25億1千万円があげられます。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ48億8千1百万円減少し、42億5千5百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は36億9千万円（前年同期は52億1千万円の収入）となりました。これは、税金等調整前当期純利益が40億4千2百万円、減価償却費が25億9千1百万円ありましたが、たな卸資産の増加額が13億9千6百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は66億2千5百万円（前年同期は49億8千1百万円の支出）となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が60億1千7百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は19億4千6百万円（前年同期は69億4千9百万円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入が20億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が33億8千6百万円あったことや配当金の支払額が4億5千4百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きは不透明であり、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような中、当社グループは「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」ことを使命とし、日常生活に密着した品揃えの充実と低価格商品の販売強化を図りながら、「小商圏バラエティ型コンビニエンス・ドラッグストア」の展開を進めてまいります。

また、引き続きローコストオペレーションの推進やキャッシュレス決済サービスの拡張によるお客様サービスの向上などの新しい取り組みにも積極的に取り組んでまいります。

2023年2月期の業績の見通しにつきましては、売上高1,257億円、営業利益40億9千5百万円、経常利益44億2千6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益30億8千万円を計画しております。なお、2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、当該会計基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在国内を中心に事業展開や資金調達を行っており、当面は日本基準を採用することとしております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,137	4,255
売掛金	969	1,254
商品	17,821	19,218
未収還付法人税等	73	83
その他	1,618	1,814
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,620	26,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,672	41,611
減価償却累計額	△13,200	△15,127
建物及び構築物（純額）	22,471	26,483
機械及び装置	295	293
減価償却累計額	△119	△139
機械及び装置（純額）	176	154
工具、器具及び備品	4,137	4,178
減価償却累計額	△3,313	△3,510
工具、器具及び備品（純額）	823	668
土地	679	679
リース資産	646	1,374
減価償却累計額	△45	△144
リース資産（純額）	601	1,229
建設仮勘定	783	587
有形固定資産合計	25,535	29,803
無形固定資産	333	334
投資その他の資産		
投資有価証券	135	155
繰延税金資産	1,713	1,973
敷金及び保証金	2,898	2,987
その他	400	415
投資その他の資産合計	5,148	5,532
固定資産合計	31,017	35,670
資産合計	60,637	62,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,578	13,076
1年内返済予定の長期借入金	3,124	3,005
リース債務	63	141
未払法人税等	1,141	616
賞与引当金	508	558
ポイント引当金	578	674
店舗閉鎖損失引当金	103	57
本社移転費用引当金	—	18
その他	2,787	2,341
流動負債合計	20,885	20,490
固定負債		
長期借入金	12,511	11,243
リース債務	603	1,225
資産除去債務	1,419	1,610
その他	192	192
固定負債合計	14,726	14,272
負債合計	35,612	34,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	22,616	25,126
自己株式	—	△0
株主資本合計	25,027	27,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	△1	△2
純資産合計	25,025	27,534
負債純資産合計	60,637	62,297

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	110,535	120,310
売上原価	84,878	93,072
売上総利益	25,657	27,238
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	578	674
給料	6,676	7,516
賞与引当金繰入額	508	539
退職給付費用	94	104
賃借料	2,694	2,965
減価償却費	2,386	2,591
その他	7,742	8,803
販売費及び一般管理費合計	20,680	23,195
営業利益	4,976	4,043
営業外収益		
受取利息	22	20
受取事務手数料	152	166
固定資産受贈益	44	59
受取手数料	47	38
古紙売却収入	33	34
その他	59	68
営業外収益合計	359	387
営業外費用		
支払利息	28	31
その他	0	4
営業外費用合計	29	36
経常利益	5,306	4,394
特別損失		
減損損失	167	314
固定資産除却損	11	2
投資有価証券評価損	400	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	44	6
本社移転費用引当金繰入額	—	27
特別損失合計	623	351
税金等調整前当期純利益	4,682	4,042
法人税、住民税及び事業税	1,680	1,338
法人税等調整額	△287	△260
法人税等合計	1,392	1,078
当期純利益	3,290	2,964
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,290	2,964

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益	3,290	2,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
包括利益	3,290	2,963
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,290	2,963
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	2,311	19,759	—	22,170
当期変動額					
剰余金の配当			△434		△434
親会社株主に帰属する当期純利益			3,290		3,290
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,856	—	2,856
当期末残高	100	2,311	22,616	—	25,027

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△1	△1	22,168
当期変動額			
剰余金の配当			△434
親会社株主に帰属する当期純利益			3,290
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	2,856
当期末残高	△1	△1	25,025

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	2,311	22,616	—	25,027
当期変動額					
剰余金の配当			△454		△454
親会社株主に帰属する当期純利益			2,964		2,964
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,510	△0	2,510
当期末残高	100	2,311	25,126	△0	27,537

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△1	△1	25,025
当期変動額			
剰余金の配当			△454
親会社株主に帰属する当期純利益			2,964
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0	2,509
当期末残高	△2	△2	27,534

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,682	4,042
減価償却費	2,386	2,591
減損損失	167	314
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	49
ポイント引当金の増減額(△は減少)	88	96
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	43	△46
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	18
受取利息及び受取配当金	△22	△21
支払利息	28	31
投資有価証券評価損益(△は益)	400	—
売上債権の増減額(△は増加)	73	△285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,710	△1,396
仕入債務の増減額(△は減少)	632	497
その他	717	△314
小計	6,529	5,578
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△28	△31
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,290	△1,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,210	3,690
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,255	△6,017
無形固定資産の取得による支出	△79	△166
投資有価証券の取得による支出	△129	△20
敷金及び保証金の差入による支出	△451	△316
その他	△64	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,981	△6,625
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,400	—
長期借入れによる収入	12,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△3,177	△3,386
リース債務の返済による支出	△38	△105
配当金の支払額	△434	△454
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,949	△1,946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,178	△4,881
現金及び現金同等物の期首残高	1,958	9,137
現金及び現金同等物の期末残高	9,137	4,255

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり純資産額	1,267円73銭	1,394円87銭
1株当たり当期純利益	166円69銭	150円16銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,290	2,964
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,290	2,964
普通株式の期中平均株式数(株)	19,740,219	19,740,218
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含まれなかつ た潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

## ① 仕入実績

当連結会計年度における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	2021年2月期 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		2022年2月期 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	16,511	18.9	16,299	17.3	△1.3
ビューティ	12,270	14.0	12,630	13.4	+2.9
ホーム	19,239	22.0	20,579	21.9	+7.0
フード	39,350	45.1	44,675	47.4	+13.5
合計	87,371	100.0	94,184	100.0	+7.8

## ② 販売実績

## イ. 部門別販売実績

当連結会計年度における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	2021年2月期 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		2022年2月期 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	23,109	20.9	24,184	20.1	+4.7
ビューティ	16,690	15.1	17,470	14.5	+4.7
ホーム	23,244	21.1	25,415	21.2	+9.3
フード	47,269	42.9	53,028	44.2	+12.2
合計	110,314	100.0	120,098	100.0	+8.9

## ロ. 地域別販売実績

当連結会計年度における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	2021年2月期 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		2022年2月期 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	15,345	13.9	17,129	14.3	+11.6
秋田県	14,463	13.1	17,004	14.1	+17.6
岩手県	39,261	35.6	40,030	33.3	+2.0
宮城県	28,738	26.1	30,231	25.2	+5.2
山形県	10,332	9.3	11,437	9.5	+10.7
福島県	2,173	2.0	4,265	3.6	+96.2
合計	110,314	100.0	120,098	100.0	+8.9